

TS[®]54 テスト・セット取扱説明書

データ・テスト / ロックアウト・オーバーライド

チップとリングにテスト・セットを接続します。
 を押します。データが存在する場合は、警告の信号音が鳴り、テスト・セットはオフフックになりません。ディスプレイには、[Data Detect Lockout (データ検出ロックアウト)] と表示されます。オフフックにするには、 を押します。

極性

POL: チップとリングの極性が逆です。

最後にダイヤルした番号をリダイヤル

 を押します。 を押します。

記憶されている番号を短縮ダイヤル

 を押します。 を押します。番号が記憶されているメモリー位置に対応するキー (1 ~ ) を押します。

音量

  を押して、動作中のスピーカーの音量を調節します。

メニュー

 を押します。スクロールするには、  を押します。アイテムを選択したり、設定を保存したりするには、もう一度  を押します。

終了するには、[Back (戻る)] を選択するか、 を押します。

- **Contacts** (電話帳): 短縮ダイヤル機能用に記憶されている 9 つの番号の電話帳です。メモリー 9 の番号は、ANAC 機能の番号です。
- **Call Log** (コール・ログ): テスト・セットで発着信した最後の 10 件の電話番号一覧です。
- **Digit Grab** (デジット・グラビング): 別のデバイスからダイヤルされた数字が表示されます。
- **SmartTone**: 誘導プローブを使用して電話回線を検知できます。
- **EditContact** (電話帳の編集): 電話帳の番号を編集できます。
- **TDR**: TDR の回線の検証と VOP の設定を変更できます。
- **Settings** (設定):
 - **Bklt Time** (バックライト時間): バックライトが消えるまでの時間です。
 - **Handset Vol** (ハンドセット音量)、**Spkr Vol** (スピーカー音量): ハンドセットとスピーカーの音量です。
 - **Tone** (トーン)/**Pulse** (パルス): トーン・モードまたはパルス・モードを選択します。
 - **Pause Time** **Flash Time** (一時停止時間/フラッシュ時間): 一時停止およびフラッシュが持続する時間です。

- **SprkrPhone** (スピーカーホン): スピーカーホンのデフォルト・モードは、[Two-Way (双方向)] ではマイクロホンはオンです。[RecivOnly (着信のみ)] では、マイクロホンはオフです。
- **AutoShutOff** (自動電源オフ): 電源が自動的にオフになるまでの時間です。
- **FactDfaults** (工場出荷時のデフォルト): 工場出荷時のデフォルト設定を選択します。

ビジュアル ANAC モード (サービス・プロバイダ専用 - ビジュアル ANAC は一部の地域でのみ使用可能)

使用している電話回線にテスト・セットを接続します。**TALK** を押します。**RCL** **#** **OVER** **NOTE** を押します。ディスプレイに [Dial ANAC (ANACをダイヤル)] と表示されます。ANAC 番号をダイヤルします。電話帳の 9 に ANAC 番号を記憶させている場合は、**RCL** **9** **WXY** を押すと、テスト・セットがビジュアル ANAC モードになり、ANAC 番号がダイヤルされます。

コーラー ID (発信者番号) メッセージ

着信電話番号

- **Blocked ID** (ブロックされた ID): CID がブロックされています
- **Line error** (回線エラー): CID データが不完全です
- **Unknown ID** (不明な ID): CID が利用できません

TDR

TDR を使用すると、最長 914 m (3,000 フィート) のケーブルの長さや、ケーブルの最初の開回路または短絡までの距離を測定できます。オプション: [Line Verif (回線の検証)] 機能を有効にし、ケーブルの伝搬速度 (VOP) を正しい値に設定します。[TDR] を押すと、回線の検証機能によって回線のデータと電圧がテストされます。 を押します。ケーブルにテスト・リードを接続します。[TDR] を押します。

TDR Results (TDR の結果)

- **Short at 386m (386 m で短絡):** テスト・セットから 386 m の位置にある 2 つの線路間で短絡しています。
- **Open at 742m (742 m で開回路):** ケーブルの全長が 742 m であるか、テスト・セットから 742 m の位置にある線路の片方または両方が開回路となっています。
- **TDR Voltage Detect Lockout (TDR 電圧検出ロックアウト):** 回線にデータまたは電圧が存在します。TDR は、アクティブな回線では作動しません。

トナーおよび SmartTone 機能

トナーは、ワイヤー・ペアを識別し、結束された中のケーブル、パッチ・パネルに配線されたケーブル、あるいは壁の裏側に隠れたケーブルの検出に役立ちます。ケーブルの 2 つのワイヤーにテスト・リードを接続します。

MENU/ENTER を押し、[SmartTone] を選択します。トーン・プローブを使用して、トーン音が最も大きい箇所を検出します。

回線に電圧がある場合は、ディスプレイに [SmartTone Volt Detect Lock Out (SmartTone 電圧検出ロックアウト)] と表示され、トナーが作動しません。

SmartTone 機能を使用すると、正しいワイヤー・ペアを確実に検出できます。正しいペアを短絡させると、トーンが変わります。

標準 VOP

MENU/ENTER を押し、[TDR]、[VOP Setting (VOP 設定)] の順に選択します。

VOP	ツイスト・ペアのケーブル・タイプ
68	ゲル充填 19 AWG
64	ゲル充填 22 AWG
62	ゲル充填 24 AWG
60	ゲル充填 26 AWG
68	紙絶縁 22 AWG
66	紙絶縁 24 AWG
65	紙絶縁 26 AWG
72	PIC 19 AWG
67	PIC 22 AWG
66	PIC 24 AWG (デフォルト)
64	PIC 26 AWG